

# WINDOW



閉会式で正調よさこいを披露



サンフランシスコの象徴 ケーブルカー



ディアブロ山展望台にて(地域分科会)



ディアブロ山麓の牧場でバーベキュー(地域分科会)

2010  
**Autumn**  
No.53

## 特集 日米草の根交流サミット in サンフランシスコ/バイエリア

- 国際観光ボランティアガイドを利用してください
- 在垂高知県人会創立40周年記念式典・ピラポ入植50周年記念式典友好訪問団訪問記
- 新しい国際交流員・JICA推進員の紹介
- アジア語学講座(フィリピン語)の紹介
- A letter from abroad
- 2010学生インターンを受け入れました
- INFORMATION BOARD

菊池 史香(スリランカ民主社会主義共和国)

フィリピンの「避暑地」ベンゲットに行こう!

当協会設立20周年記念・国際ふれあい広場2010を開催します!



# 国際観光 ボランティアガイドを 利用してください



## ◎今年の国際観光ボランティアガイド養成講座

昨年度(21年度)に「高知城」を中国語と韓国語で観光案内できるように学習した「国際観光ボランティアガイド養成講座」は、今年、「桂浜」で5月下旬から6月上旬にかけての毎週月曜日3日間で開催しました。今年をご存知のとおりNHK大河ドラマ「龍馬伝」の影響を考慮し週末を避けて実施しましたが、それでも県外ナンバーの乗用車の姿が目立っていました。

平日開催ということもあり、受講者数は17名(中国語7名、韓国語10名)と少なかったものの、昨年度の受講者が半数以上を占め、継続的な関心の高さや熱意を窺い知ることができました。

桂浜には「坂本龍馬像」の他にも多くの石碑や砲台跡などがあり、アジアからの観光客にも興味を持ってもらえそうな観光スポットが数多くあることに受講者は一様に驚いた様子でした。

今回の講座によって新たに4人のボランティアガイドが仲間入りし、現在、44人(中国語21名、韓国語23名)が登録されています。



「豪気節」の石碑の前でガイド練習する受講者(中国語)

## ◎国際観光ボランティアガイドの利用案内

登録されているボランティアガイドの多くは県内在住の日本人ですが、外国籍の方や、すでに帰化している方もいます。語学レベルもまちまちですが、「高知城」と「桂浜」を観光案内できるように準備ができており、要望があれば他の観光地にも対応できるよう準備します。

これまでガイド実績はないですが、翻訳の方では、ひろめ市場館内案内(中国語簡体字と繁体字・韓国語)、高知市内老舗旅館の館内案内(中国語簡体字と繁体字・韓国語)、土佐・龍馬であい博メイン会場の館内案内(中国語繁体字)など、観光分野での翻訳実績は数多くあります。

県内の観光振興のために原則無償で活動しますので、翻訳料やガイド料金はいただきませんが、施設の入場料、ガイドの交通費(公共交通機関)、及び食事代(時間帯による)はガイド依頼者に負担していただくことになります。利用ご希望の方は、当協会HPにある所定の申込書(日本語、ワードファイル)にご記入の上、ガイドを希望する日の2週間前までにお申し込みをお願いします。

# 在亜高知県人会創立40周年記念式典・ ピラポ入植50周年記念祭典 友好訪問団訪問記



高知県文化・国際課 チーフ(国際交流担当) 夕部 茂

## 【はじめに】

中南米には、ブラジルをはじめ、パラグアイ、アルゼンチン等多くの県人が移住しています。全国的にも移住者の数は大変多く、東京、福岡を除くと北海道、熊本、長崎に次いで2,668人の方々が移住しています。(注:昭和27年~43年集計)

今回の目的は、記念式典への参加と訪問先地の県人会会員との旧交を深めるもので、7月29日から8月7日の10日間の訪問でした。

## 【在亜高知県人会創立40周年式典】

記念式典は、先没者への黙とうで始まり、来賓挨拶の後、高齢者への祝い状、功労者への感謝状の贈呈式終了後、県人会の皆さんと出身地の状況、高知県の近況など、親しく懇談しました。



【贈呈式の様子】



【入植記念碑前で】

## 【ピラポ入植50周年記念祭典】

祭典には、日本からは高知県18名と岩手県8名の参加でした。僅か18名の訪問団でしたが、県人会の皆さんに「おらが故郷の県が出席した」と、大変喜んで頂きました。当移住地が、1960年8月2日、高知県出身者26家族の入植から始まったことを思うと、訪問団を組むことができ、本当によかったと思います。

## 【移住日系人の思い】

式典に限らず、各訪問地で盛大な歓迎会をして頂き、たくさんの移住者と懇談ができました。懇談では、母県に対する思いが、ひしひしと伝わり、遠く離れた移住地と、深く、強く、そして、固いきずなで結ばれていることに思いを致す旅でした。



【久しぶりの訪問にワイワイガヤガヤ】

## 【最後に】

しかしながら、移住者の世代も3世、4世へと移り変わり、日本語が話せない世代、あるいは話ができるが読み書きはできない世代になりつつあります。そして来日経験のない世代も大変多くなっています。

今後、これまで以上に、移住地において「土佐弁」や「郷土文化」が受け継がれるようお手伝いをしていきたいと、団員一同決意を新たにしました。

特集

# 日米草の根 交流サミット

in サンフランシスコ/ベイエリア

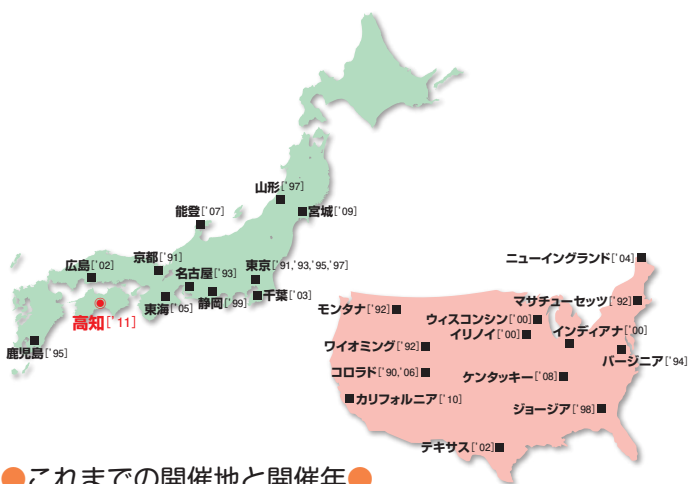
来年（2011年）の高知での開催に向けて、

今年の開催地「サンフランシスコ/ベイエリア」に行ってきました！

公益財団法人高知県国際交流協会 マネージャー 吉田 進

## ○日米草の根交流サミットとは？

ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター（CIE）が毎年日本とアメリカで交互に開催している交流イベントです。CIEや草の根交流サミットの原点は、1841年、今から169年前の中浜万次郎とホイットフィールド船長との運命的な出会いと2人の友情、そして、その後今日まで続く彼らの子孫によって育まれている親交にあります。1対1の人と人との関係が国際交流において最も重要であるという認識の下、言葉・生活習慣などの違いを越え、同じ人間として互いに心を通わせ合い、理解し合い、友情を深め合う機会を日米双方の国民に提供することがこの日米草の根交流サミットの真髄です。



●これまでの開催地と開催年●

## ●今回のサミット大会スケジュール●

8/24 (火)	成田 サンフランシスコ	成田より到着。市内観光 大リーグ観戦
8/25 (水)	オプションツアー サンフランシスコ	ファイナルツアー、など 開会式
8/26 (木)	サンフランシスコ 各地域	地域分科会へ出発 ホストファミリーと対面
8/27 (金)	各地域	地域分科会 ホームステイ
8/28 (土)	各地域	地域分科会 ホームステイ
8/29 (日)	各地域 サンフランシスコ	地域分科会 閉会式
8/30 (月)	サンフランシスコ	成田へ出発
8/31 (火)	成田	成田到着

## ○来年は高知で開催です！

今年のサンフランシスコ/ベイエリアでのサミットは20回目に当たります。1991年の東京・京都での開催を皮切りに毎年日米各都市で交互に開催されています。21回目に当たる来年2011年の6月29日から7月3日の5日間、ジョン万次郎の故郷である高知県に約200人のアメリカ人が訪れ、地域分科会やホームステイなどで交流を深めます。

## ○交流の目玉は何と言ってもホームステイ！

おそらく参加者が異口同音に「一番良かった！」と感想を口にするのが3泊4日のホームステイだと思います。私自身も今回のサミット全日程の中で一番印象的だったのがこのホームステイでした。ごく一般の家庭に迎えられホストファミリーと一緒に過ごす時間は、普段の生活では決して得ることのできない貴重な経験です。

テレビや映画などで映し出される広い庭とプール付きの大豪邸を期待していた私は、完全に拍子抜けしてしまうくらい、私のホストファミリーには大変失礼ですが、広い庭もプールもないごく普通の家でした。玄関に近づくにつれて高まる緊張感を言葉で表現するのは難しいですが、玄関の扉が開いた途端、重たいスーツケースとともに異次元空間に引き込まれていくかのような印象でした。

靴は脱がなくていいのかと思いきや、玄関から約2m先でホストファミリーが靴を脱ぎだしました。私のホストファミリーは奥様(と言っても私よりどう見ても若く見える)が日系人でした。サンフランシスコなど米国西海岸には日系人が多く住んでいます。部屋のいたるところに日本を感じさせるものが置いてありました。「ここはアメリカ？」と首を傾げたくなるようなもの(日本語で書いた40年前の本など)を見つけて、思わず見入ってしまいました。

日本からの手土産を持参したものの、渡すのをためらいました。というのも、土佐和紙で作った人形と団扇でしたが、土佐和紙でないにせよいずれもホストファミリーが持っていることに渡す前に気付いてしまったからです。ですから渡すときに土佐和紙で作られていることを強調し、「ホストファミリーの情報をもっと早く知らされていたら、別のものを買ってたのに・・・」と苦し紛れの言い訳をしてしまいました。

極めつけは、旦那様も含めて日本のアニメに大変詳しくあったことです。今や日本のアニメは「ソフトパワー」として外交力の一端を担っていると言えますが、恥ずかしいことに彼らから見せられた日本のアニメ全てを私は知りませんでした。「良く見るアニメは？」と聞かれて、子供の頃から良く見ている「サザエさん」と答えましたが、今度は彼らの方が知りませんでした。それからアニメの話はあまりしないことにしました。

こうして互いの興味などを探りあいながら1日1日が過ぎていきました。3日目にみんなで買い物に行きましたが、買い物が終わった後、地元のラーメン屋さんで遅めの昼食を取りました。ホストファミリーがラーメンを「ズズーッ」とすすりながら食べているのを見て、私は彼らに対して例えようのない親近感を持ちました。こういう何気ない仕事や動作で人に対する見方が変わるものかと改めて思いました。



閑静な住宅地にあるホストファミリーの家



バーベキュー会場でホストファミリーと(左端が筆者)



地元のラーメン屋さんで

## ○来年はあなたが主役です！

来年の開催県として、私たち高知県民がアメリカからの訪問客をもてなし、楽しませなければなりません。いったいどんなことができるのでしょうか？

当協会としてはホストファミリーへの登録を呼びかけています。参加者にとって最も意義深く、これから何世代にもわたって交流が続くかもしれないホームステイを支えていただくご家庭を募集しています。英語ができなくても、家が小さく古くても気にせずどしどし応募してください。お待ちしております。

## 新しい高知県国際交流員の紹介

你好(ニーハオ)！中国からの国際交流員の黄燕と申します。

今年4月の中旬くらいに高知に着いて、桜の満開に間に合わなかったのが残念だけど、高知でいろいろな良い体験をさせてもらいました。例えば内陸出身の私は、初めて高知の海を見た時、その美しさと素晴らしさに感心しました。また、ある夜たくさんの友達と四万十川でピカピカと輝いているホテルを見たことや、暑い夏の季節によさこいを踊ったこと、すべては人生の良い思い出になるでしょう。

海もある、山もある高知県は緑が多くて、きれいなところだと思います。私の故郷安徽省もきれいなところですよ。北部には淮河という川があって、南部には長江(揚子江)があって、中央部には巢湖という湖があります。また、南部には「黄山」という世界遺産に登録された山もあります。今、交通も便利になり、上海まで列車で3時間しかかかりません。

大学で日本語を専攻として勉強し、卒業後日本語の先生になっている私は、今の国際交流員の仕事をきっかけとして、中国の状況などを日本人に伝えると共に、日本文化や社会などいろいろな体験して、中国人に伝える懸け橋になりたいです。

どうぞ、よろしく願いいたします。



こう えん  
黄 燕  
(中国安徽省出身)

## 新しいJICA四国国際協力推進員

3月からJICA四国国際協力推進員高知県デスクに着任致しました。

今年の1月まで青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイ共和国で活動していました。アフリカの大地で厳しい太陽を浴びながら、任地の大学で陸上競技・サッカー・バレーボールなどをマラウイ人と一緒に汗をかいて活動していました。

協力隊員時代の所長・ボランティア調整員が高知県の方で大変お世話になりました。高知もアフリカに負けないような日差しでとても心地よいです。気候が気持ち良く、人が親切で明るく、食べ物がおいしい住みやすい場所です。このようなところで国際協力に携われることがとても嬉しいです。

これから少しでも高知の国際協力のために貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



渡邊 琢磨

☆高知県国際交流協会内にJICAデスクを設けています。国際協力に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

## アジア語学講座(フィリピン語)の紹介

当協会が21年度に開始したアジア語学講座は、今年「フィリピン語」で実施しました。県内には500人以上のフィリピン国籍の方が居住しており、そうした県内に居住するフィリピン人との交流が促進されることを期待してフィリピン語による語学講座を開催しました。

講師には県内在住歴20年以上のフィリピン出身の方に務めていただき、週1回1時間半、計15回(夏休み期間中を除く5月19日～9月29日の毎週水曜日午後2時から3時半)の講座の中でフィリピン語の基礎(発音、文法、簡単な挨拶など)を主に学習しました。受講者の中には配偶者がフィリピン人という方もいて、趣味の学習の域を超え、日常会話に役立つ、より高度なレベルの学習を求める受講者もいました。

講座のなかった夏休み期間中にはフィリピン料理の講習会が開かれるなど、語学だけでなく、フィリピンをより深く理解するための講座になったような気がします。

要望があれば来年度もアジア語学講座を継続できればと思っています。



フィリピン料理を皆で作って試食しました。

# A letter from abroad

## スリランカからの便り

JICA青年海外協力隊 菊池 史香  
職種: デザイン 出身地: 四万十市(現住所: 馬路村)

スリランカはインドの下に一滴の雫のようにしてある、小さな島国です。北海道よりひと回り小さな面積に2000万人の人々が暮らしています。昨年4月、30年近くに渡って続いた内戦が終結し穏やかなムードが広がりつつあります。

私は2010年1月よりデザインという職種で赴任しています。低所得者層への収入向上を目的とし、若者、主婦、特定物の生産者達と共に土産品や新たな製品開発のプロジェクトに関わっています。戦争が終わり、物価が高騰しはじめ、貧富の格差が徐々に広がりをみせる状況の中、増えつつある外国人観光客達へむけた提案を彼らと一緒に模索する日々です。この国で暮らしはじめて8ヶ月が過ぎました。

感想をひと言でいうのはとても難しいですが現時点でコピーをひとつ考えるとしたら、『スリランカには村があった』と、したいと思います。

国の隅々に人が暮らし、道の奥の奥にまで、バスが通り、商店があり、子どもや若者の姿があって、その暮らしはけっして豊かとはいえないけれど生きる活気にみちあふれています。

裸足で走る子ども達や外で水浴びをする女性、汽車にしがみつく若者達。

製品を通して、外国の人々にこの国にある底力を伝えたいと思うのです。

収入の向上と共に、自信と可能性を得てもらうことができれば、嬉しいなあ、と思います。



現地の女性と子供たち

## 2010学生インターンを受け入れました

### 「インターンシップを通じて」

関西外国語大学 外国語学部英米語学科2年 橘 ひかり

7日間という短い間のインターンシップでしたが、私にとって非常に有益なものでした。

打ち合わせや会議、資料の英訳など様々な業務に携わっていく中で、特に印象に残っているのは、10月中旬に行われる「国際ふれあい広場2010」の企画や準備に参加したことです。

イベントを成功させるために準備段階はとても大切で、たくさんの方がかわりあっていくことが分かり、社会に出ていく中で人とのかわりなしでは生きていけないと感じました。

また、高知県は日本全国で一番外国人居住者が少ない県だと知り、もっと外国の人に高知の良さを知ってもらえたら、外国人は増えるのではないかと思いました。高知県の良さは自然がいっぱいで人がとても温かいことです。高知から離れて暮らしているからこそ、高知の良さをより理解することができました。このインターンシップを通じて高知が改めて好きになり、また高知県と国際交流にかかわることが出来てとてもうれしく感じました。

最後に、語学や国際交流、そして高知県に興味があるみなさんは是非来年インターンシップに参加してみてください。働く意義はもちろん、国際交流や高知県についての知識も増えると思います。今後は高知県国際交流協会での経験を将来のキャリアを考える上で生かしていきたいです。



# INFORMATION BOARD

## フィリピンの「避暑地」ベンゲットに行こう!

今年、高知県とフィリピン共和国・ベンゲット州は友好姉妹提携35周年を迎えます。これを記念して下記の日程で友好訪問団を派遣し、現在参加者を募集しています。

○訪問日程:11月20日(土)～11月26日(金) 7日間

○訪問スケジュール(予定):

20日(土)	●深夜、貸切バスで県内を出発。 【車中泊】
21日(日)	●早朝、閑空に到着。 ●フィリピン航空にてマニラへ。 ●着後、野菜市場視察。 ●大使館職員らによる講演と懇親会。 【マニラ市内泊】
22日(月)	●貸切バスでベンゲットへ。 ●ベンゲット州知事表敬訪問。 ●ベンゲット州知事主催の歓迎夕食会。 【バギオ市内泊】
23日(火)	●ベンゲット・デイに参加。 【バギオ市内泊】

24日(水)	●農業研修生などの活動視察。 ●慰霊地訪問。 ●訪問団主催の答礼夕食会。 【バギオ市内泊】
25日(木)	●貸切バスでマニラへ。 ●フィリピン航空にて閑空へ。 ●閑空から貸切バスで高知へ。 【車中泊】
26日(金)	●夜中に県内着。

○参加費:13万6千円(2名1室)

○申込締切:10月18日(月)

詳細については当協会HPをご覧ください。  
○申込締切:10月18日(月)  
詳細については当協会HPをご覧ください。  
○申込締切:10月18日(月)  
詳細については当協会HPをご覧ください。

### ベンゲット州の概要

ルソン島北部に位置し標高1500m前後。首都マニラから飛行機で1時間程度。面積は2655.4平方キロメートルで高知県の約37%。人口は約58万人で高知県の約74%。気候は雨期と乾期に分かれ、年平均気温18度、平均雨量4,500ミリと多少雨は多いが快適な気候。主な産業は農業。州都はラ・トリニダッド市。高知県とは主に農業研修生の受け入れをとおしての交流が盛ん。



## 当協会設立20周年記念・国際ふれあい広場2010を開催します!

今年も国際協力・交流に関する総合イベント「国際ふれあい広場2010」を以下のとおり開催します。今年も当協会設立20周年記念事業として俳優・国連開発計画(UNDP)親善大使の紺野美沙子さんによる記念講演会も開催されます。お誘い合わせの上ぜひお越しください。

**主催** 公益財団法人高知県国際交流協会

**共催** JICA四国(独立行政法人国際協力機構四国支部)

**日時と場所**  
10月16日(土) 13:00～17:00 高新RKCホール  
10月17日(日) 10:00～17:00 ひろめ市場イベント広場

**催物内容** 16日(土).....

- 紺野美沙子氏(俳優・国連開発計画[UNDP]親善大使)による記念講演会(13:15～14:45)  
講演テーマ「国連開発計画(UNDP)親善大使として見たこと、感じたこと」
- 国際土佐っ子メッセージ(15:00～17:00)  
県内中学生による国際貢献等に関する弁論大会。各賞あり。

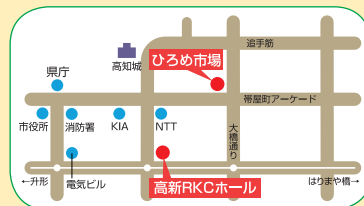
17日(日) 10:00～17:00 ※飲食関係は売切れ次第終了です。.....

- 中国家庭料理(肉饅・餃子)の販売
- 高知城英語ガイド講座
- 第49回日中友好の集い(留学生との交流、など)
- グアテマラ・インドネシア・ラオス民芸品展示販売会
- ハワイ・コナコーヒーとケーキの販売
- JICAボランティア相談会
- 県出身・海外ボランティアの紹介
- 国際協力・国際交流パネル写真展
- その他、中国の踊り、フラダンス、民族衣装の試着、等

※出展団体一覧(順不同)

- ①特定非営利活動法人アジア文化交流会 ②中国帰国者の会 ③高知SGG善意通訳クラブ ④グアテマラ生産者支援ネットワーク「みるば」 ⑤特定非営利活動法人Brain ⑥アジア・僻地医療を支援する会 ⑦高知県青年海外協力隊OB会 ⑧奥村多喜衛協会 ⑨国際協力機構四国支部(JICA四国) ⑩高知県国際交流協会

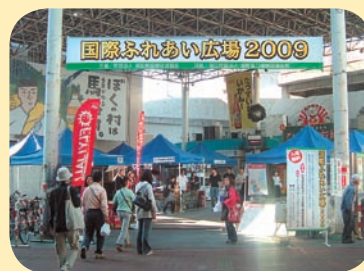
詳しくは、当協会HPをご覧ください →



### 紺野美沙子さん

#### プロフィール

俳優・国連開発計画(UNDP)親善大使  
東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。他に、「オットーと呼ばれる日本人」(作木下順二)、「さんぎょの夢」(原作・向田邦子)、「現代能楽集イブセン」(作・坂手洋二)などがある。テレビ・映画・舞台に活躍する一方、1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。近著に、親善大使として訪れた国や人々について綴った「ラララ親善大使」(小学館刊)がある。2010年4月から、NHK教育テレビの語学番組「ギフトE名言の世界」(毎週月曜23:10)の司会を務める。2010年9月(御園座)、11月(博多座)は、「忠臣蔵」の舞台に出演する。



昨年の国際ふれあい広場

